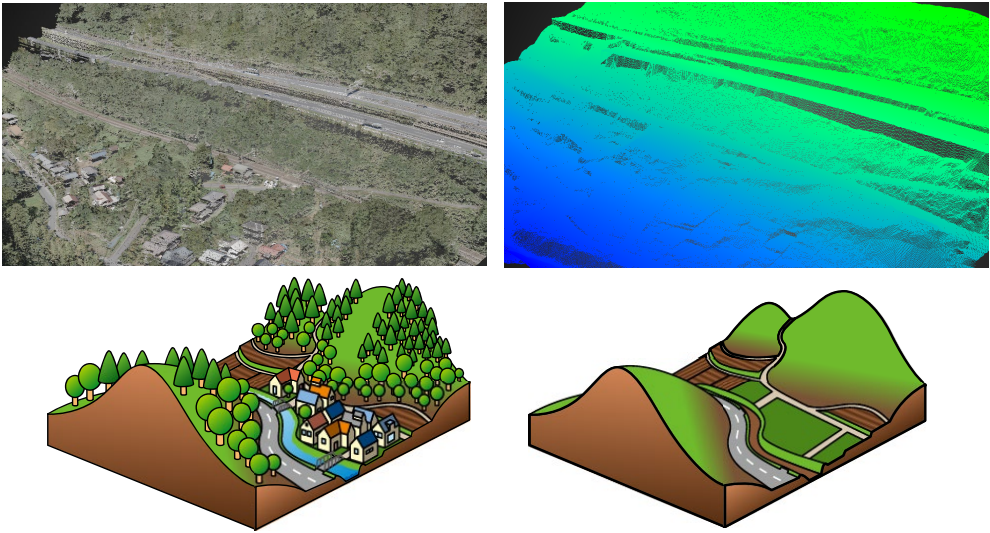
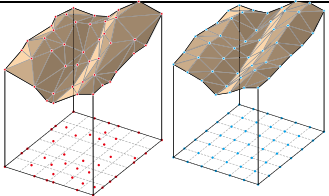





(別紙)オープンデータとして公開するデータ

	種類 ※画像提供: 朝日航洋株式会社	データ形式	
1	<p>オリジナルデータ(DSM)及びグラウンドデータ(DEM) :建物・樹木などの地物の高さを含む地表面データ(DSM) 建物・樹木などの地物の高さを含まない地表面データ(DEM)</p> <p>【DSM】 【DEM】</p> 	Las	
2	<p>航空レーザ用数値写真データ(オルソ画像) :写真画像に三次元計測データ等を加え正射変換を行った画像データ</p>	GEOTIFF	
3	<p>グリッドデータ (0.25m) ★ :グラウンドデータを基に作成した 0.25m 格子状の標高データ</p>		GEOTIFF
4	<p>グリッドデータ (0.5m) :グラウンドデータを基に作成した 0.5m 格子状の標高データ</p>	<p>※ランダムな点群を格子状に整列したグリッドデータにすることで解析等が容易に</p>	GEOTIFF
5	<p>等高線データ :グリッドデータから自動生成により作成した 1m 間隔の等高線データ</p>	Dxf	
6	<p>★ 微地形表現図(陰陽図) (0.25m) :グラウンドデータの地形特徴を直感的に理解しやすい形で表現した 0.25m メッシュの画像データ。 特徴として拡大表現しても微地形表現を維持</p>		GEOTIFF
7	<p>微地形表現図(陰陽図) (0.5m) :グラウンドデータの地形特徴を直感的に理解しやすい形で表現した 0.5m メッシュの画像データ。 特徴として拡大表現しても微地形表現を維持</p>		GEOTIFF

8 ★	微地形表現図(赤色立体地図) (0.25m) :グラウンドデータの地形特徴を直感的に理解しやすい形で表現した0.25mメッシュの画像データ。 特徴としてダイナミックな地形表現が可能		GEOTIFF
9	微地形表現図(赤色立体地図) (0.5m) :グラウンドデータの地形特徴を直感的に理解しやすい形で表現した0.5mメッシュの画像データ。 特徴としてダイナミックな地形表現が可能		GEOTIFF

★:公表データとしては国内最高精度

参考:精度向上による活用シーンの増加

データ精度が上がると情報量が多くなるので、解析が精緻になり活用の幅が広がります。

例えば、従来、人が立ち入るには危険が伴った場所の点検なども、机上でできるようになるなど、安全面や効率化などにも寄与する可能性があります。※画像提供:朝日航洋株式会社

